

ふじ 3 号 (FO-29) 2026 年にいよいよ全日照突入

JA1OGZ 金子 明

1996 年 8 月 17 日打ち上げられた「ふじ 3 号 (FO-29)」は本年 2026 年 3 月 9 日頃から全日照に入っていきます。

最初の期間は 4 月 21 日頃までになりますがその後は約半年間に及びます。

現在の動作状況は日照時にコマンドを送り送信機を立ち上げていますが、太陽電池の発電量が減少すると UVC により送信機が OFF になって飛来してきていますが、さらにバッテリー電圧が低下あるいは供給停止になると衛星は「完全電源喪失」となります。

その後、日照域に入り電力が供給され始めると、パワーオンリセットが掛かり、同時に送信機が ON になります。送信機が ON になるタイミングに運よく飛来してくるとそのまま中継器を使うことができます。

JARL の FO-29 の運用チームは 2 月から 3 月 9 日の全日照までの日陰率の大幅な低下時期に送信機 ON/OFF の状態を世界中からのレポートを待っています。

ぜひとも、AMSAT-NA の Web ページ「**AMSAT Live OSCAR Satellite Status Page**」に送信機 ON/OFF 状態の更新をお願いします。

AMSAT-NA Web Page : [AMSAT OSCAR Satellite Status](#)

(参考)

以下の図 1 では黒色の幅が日陰を表しています。2 月 25 日では黒色の幅が 15 分程度です。3 月 7 日 (土) の日印は 4 分程度であり一旦中継器があがると継続して動作する可能性があります。

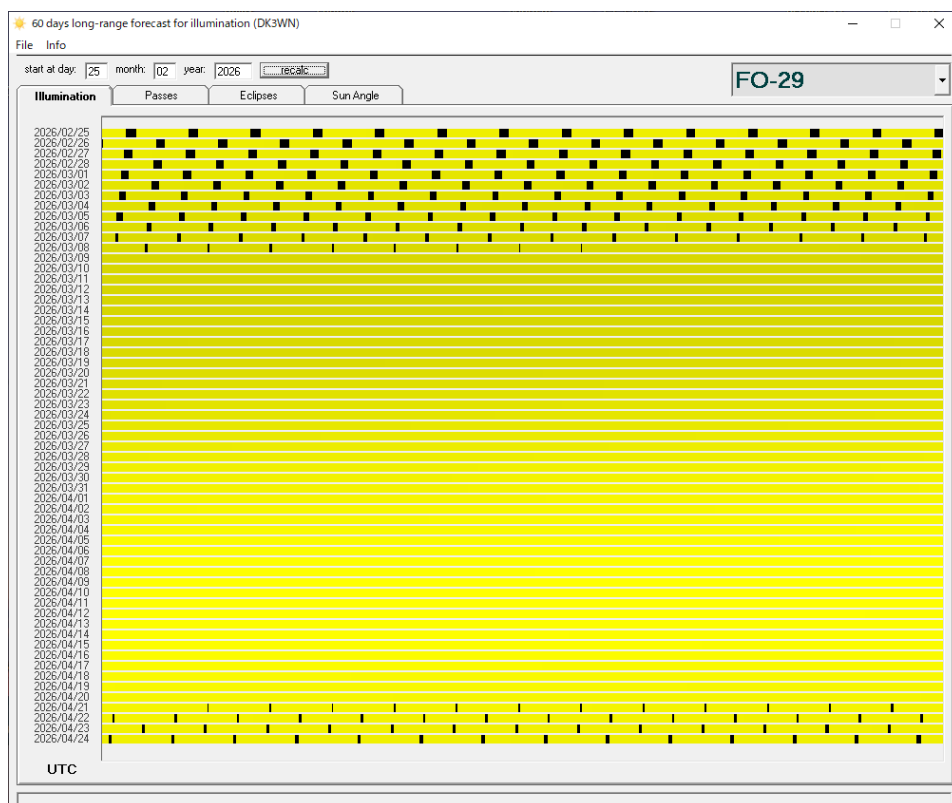


図 1 2026 年 2 月 25 日～4 月 24 日 (UTC)

4 月 21 日から全日照が一旦終わりますが、次回は 5 月 20 日から全日照が再び始まります。日陰の長さは 3-4 分程度なので短いこともありうまくすると中継器は動作している可能性もあります。5 月 20 日から全日照は約半年の 11 月 14 日まで続きます。

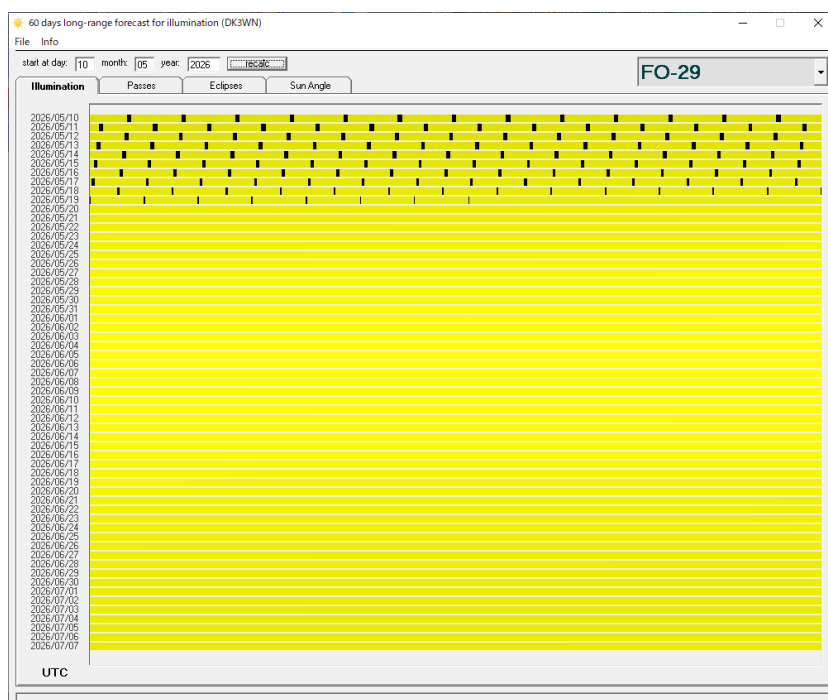


図 2 2026 年 5 月 10 日～7 月 7 日

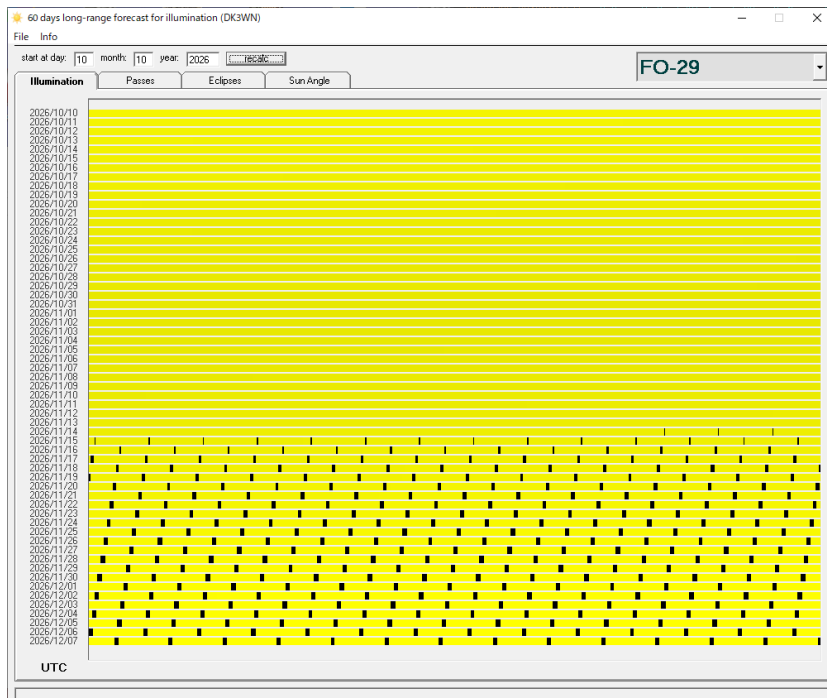


図 3 2026 年 10 月 10 日～12 月 7 日

次の全日照は、12 月 12 日より始まり、2027 年に続きます。図 4

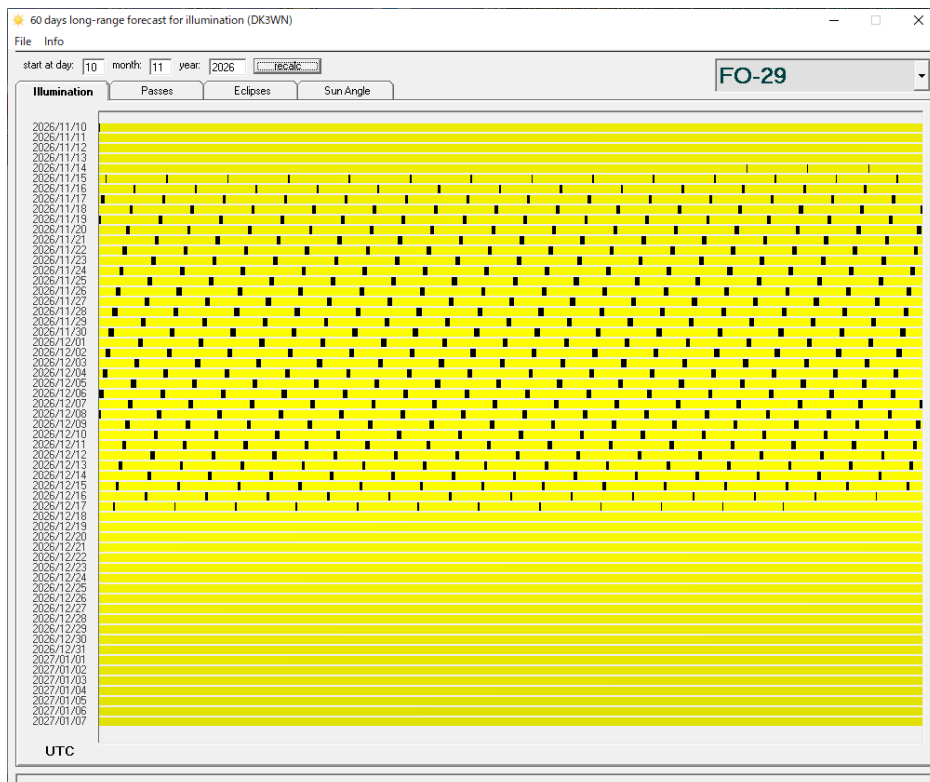


図 4 2026 年 11 月 10 日～2027 年 1 月 7 日

(まとめ)

本年の全日照は 3 月 9 日～4 月 20 日、5 月 20 日～11 月 14 日、12 月 18 日～ と今年は 193 日余りと半年も全日照となりますので、ふじ 3 号の温度上昇や更なるバッテリーの動作異常もあるかと思われますのでテレメトリーの取得により動作状況を注視していくことになるかと思います。まもなく運用開始から 30 年を迎えようとしている中どのように延命策を講じるか、突然使えなくなるかなど想像がつかないところですが定期的なテレメトリーの取得が必要となりますので皆様のご協力をお願いいたします。